

## ◆ ゲストアクセスを許可する

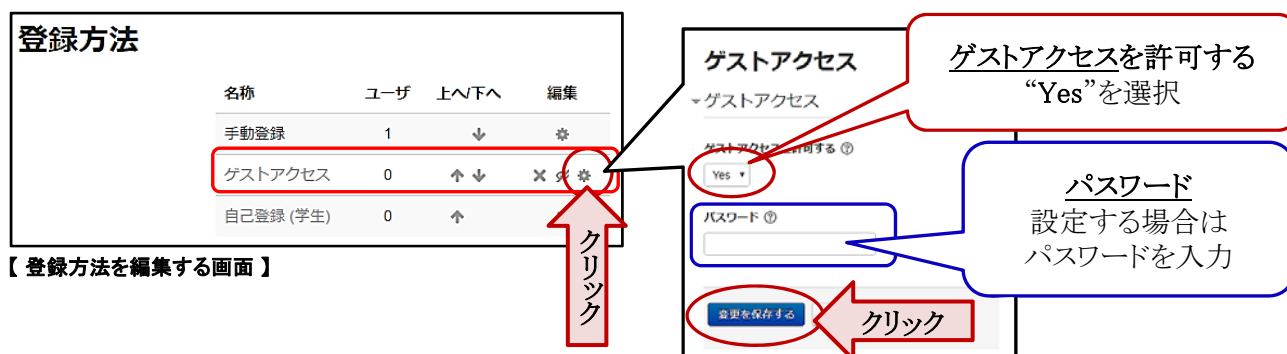
学生がeALPSを利用するには、キャンパス情報システムから履修登録を提出することが必要です。学生が履修登録によってeALPSのコースに登録されていない場合(初回授業等)に、コースを閲覧させるには、『ゲストアクセス』機能が利用出来ます。その場合、学生はゲストユーザとしてコースを利用します。

通常の登録と違いゲストユーザのコースは時間割に表示されませんので、毎回コース名をeALPSで検索しコースを利用します。

### ① 「管理」ブロック → [▶ユーザ] → [登録方法]



### ② ゲストアクセス横の [歯車のアイコン(設定を編集する)] → 「ゲストアクセス」の設定を編集 → [変更を保存する]



#### caution ! ゲストユーザは、利用できるコンテンツに制限があります !

ゲストユーザは、コースに掲載されたファイルのダウンロードはできますが、課題提出、小テスト受験、フォーラム投稿等、一部利用できないコンテンツがあります。  
eALPS上のすべてのコンテンツを利用させたい場合は、学生が履修登録をする必要があります。

#### caution ! 教員からゲストユーザの特定はできません !

ゲストユーザはコースに登録されませんので、教員にゲストユーザの氏名はわかりません。また、ゲストアクセス許可を解除しない限り、不特定のユーザがコースを閲覧することができます。

事前に受講学生がわかっている場合には、e-Learningセンターまで名簿を送付いただきますと、履修登録にかかわらず学生をeALPSのコースに登録することもできます。(この場合、ゲストアクセスを許可する必要はありません。)